

# 大切な子どもの命を守るために

～乳児用チャイルドシートの使い方～

一般社団法人 日本自動車工業会

動画による説明はこちら



## 妊娠中もシートベルトを着用しましょう

①肩ベルトを肩の中央付近にかけ、ベルトがお腹に当たらないようにしてください



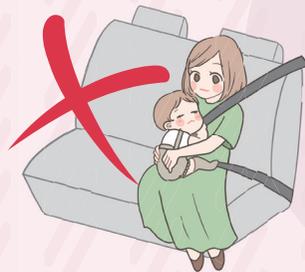
②腰ベルトを骨盤の低い位置に固定してください

お腹の赤ちゃんのためにもシートベルトの着用は大切です。着用の際は①②のポイントを守ってください。

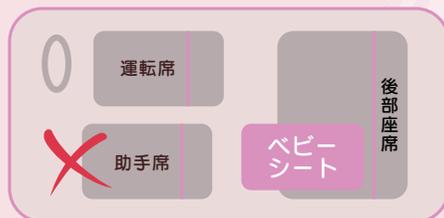
※シートベルト着用にあたっては、かかりつけの医師に相談し、その指示に従ってください。

## 赤ちゃんのために退院時から乳児用チャイルドシートを正しく使いましょう

赤ちゃんを抱っこして乗車するのは事故の衝撃に耐えられないため大変危険です。必ず乳児用チャイルドシート（以下ベビーシート）を使用してください。ベビーシートは国の安全基準に適合したものを選びましょう。



ベビーシートは後ろの座席の左側に取り付けてください。助手席はエアバッグが搭載されており、事故の際に強い衝撃をうけるので、助手席に取り付けるのはやめましょう。



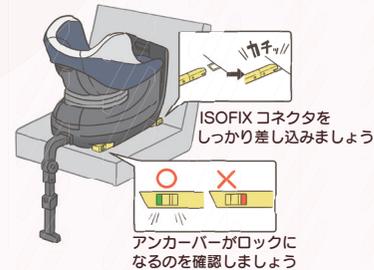
車を真上から見た図

ベビーシートを後ろ向きに取り付けることで、頭の大きい赤ちゃんでも背中全体で衝撃を受け止めて分散することができます。身長76cm、かつ月齢15か月になるまでは後ろ向きに取り付けてください。

## ベビーシートの正しい使い方

取り付け方法は2種類あります。ISOFIX という取り付け金具で固定する方式とシートベルトで固定する方式です。取り付け方が簡単な ISOFIX 固定をお勧めします。

### 取り付け方（ISOFIX 固定）



### 取り付け方（シートベルト固定）



### 赤ちゃんの乗せ方



肩ベルトは肩の位置を合わせて腰ベルトは腰部の低い位置に下げましょう。また、ゆるみやねじれがないかベルトを引っ張って確認しましょう。

## チャイルドシートは成長に合わせて選びましょう

子どもの成長に合わせてチャイルドシートを乳児用から幼児用、そして学童用へと段階的に変更しましょう。身長が150cmをこえて、チャイルドシートが無くてシートベルトを正しく装着できるようになるまで使用を続けてください。

### 乳児用



参考身長：83cm 以下  
参考年齢：生後0～1歳ごろ

### 幼児用



参考身長：76cm～100cm  
参考年齢：1～4歳ごろ

### 学童用



参考身長：100cm～150cm  
参考年齢：4歳～

※乳児・幼児や幼児・学童を兼用できるチャイルドシートもあります。  
※チャイルドシートご使用にあたっては取扱説明書の内容をご確認ください。